

一冊本〈新装版〉として甦る  
定評のある本格的仏教大辞典

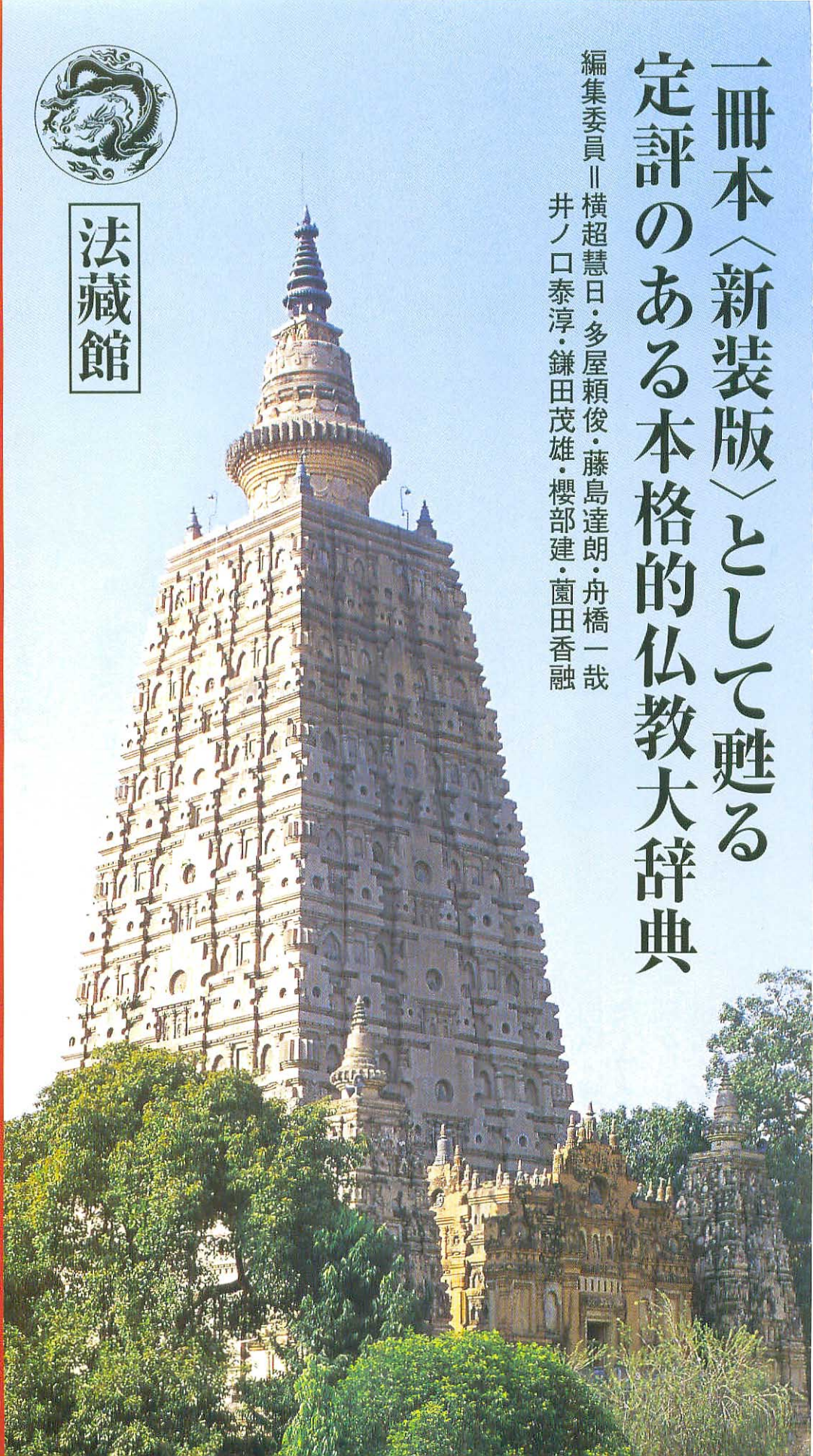
編集委員 横超慧日・多屋頼俊・藤島達朗・舟橋一哉  
井ノ口泰淳・鎌田茂雄・櫻部建・蘭田香融



法藏館

総合  
佛教大辞典

〔全二卷〕



## 刊行のことは

仏教大辞典のなかで先駆的役割を果たした『総合佛教大辞典』は、本格的な仏教大辞典として高い評価を受けて今日にいたっておりますが、このたび読者の強い要望にお応えし、従来の三巻本を改めまして一冊本の〈新装版〉として生まれ変わることになりました。

二千数百年にわたりアジア文化の基底であり、精神のよりどころでもあった仏教は、二十一世紀を迎えてその期待はますます大きいものがあります。これは物質面では豊かな生活を謳歌しながらも、その一方でわれわれはここに飢餓感があり、そして精神面の充足を求めているからに他なりません。

本辞典の編纂意図は、世界宗教としての仏教を正しく世に広めるための基礎づくりにあります。そのために、解説は何よりもまず正確で平易であることを心がけました。したがって、仏教の普遍性を明らかにするため、仏教を中心とした仏教思想をその原型において体系的にとらえること、また各時代・地域に生きた仏教の特殊性を明らかにするため、仏教史学を中心に関連諸学の研究成果を十分に反映することに努めました。

今回の一冊本〈新装版〉を刊行するにあたり、基本図書として、さらに教養書として多くの読者のご活用を願うものです。

二〇〇五年一月

法藏館

## 〔特色〕

● 仏教学・仏教史学を中心に、文学・美術・民俗学・考古学など、関連諸学の研究成果を全面的に網羅しました。

● 精鋭な執筆メンバーによつて、必要かつ十分な一万二千項目を厳選、中・小項目方針で仏教の思想や歴史を体系的・立体的に把握できるように工夫しました。

● インド・東南アジア・チベット・西域・中国・朝鮮、そして日本など仏教文化圏を広範囲にカバーしました。

● 経典・典籍・寺院・人物・遺跡・美術・仏具・行事・法会などが網羅されています。

● 資料としても重宝な二六〇点余の図版・地図は文章の理解をさらにたすけます。

● 四万七千余項目を採録した詳細な和文・欧文索引と、「仏教関係主要叢書目録」はたいへん便利です。

なんよう 南要 (嘉慶元1387) 文明二  
 丁(○)時宗の僧。弥阿と号した。京都(一説  
 に美濃)の人。時宗一三祖尊明の門に入り、  
 のち一六祖を嗣いだ。また藤沢の清浄光寺  
 の第九世を継いで同寺を復興し、さらに美  
 濃国垂井に金蓮寺を開いた。著書、四国廻  
 巡記一卷。参考新編相模風土記稿一〇三、清浄光  
 寺記録、遊行系譜

に

にいであら 二井寺 ↓極楽寺(註)②  
 にえこうしがん 二廻向四願 浄土真  
 宗教義の大綱を示す語。教行信証に「謹ん  
 で浄土真宗を按ずるに二種の廻向あり。一  
 には往相、二には還相なり。往相の廻向  
 に就て真実の教行信証あり」と説く。即ち  
 衆生が極楽に往生する因果(教行信証の四  
 法)も、極楽に往生した後再びこの世に還  
 って他の衆生を救う能力も、共に阿弥陀仏  
 が衆生に与えるものであることを二廻向と  
 し、このうち往相廻向に第十七(行)または  
 教をも含む(一)第十八(信)・第十一(証)の三  
 願を配し(↓)四法三願(註)①、還相廻向に第  
 二十二願を配するから、二廻向四願という

へ(↓)本願(註)②。なお、教を往相廻向におさめる  
 か否かについては異説がある(文類聚鈔に  
 教を除いて行信証を往相廻向とし、本願力  
 の廻向に二種ありと示すのによる)。  
 に(一)おう 二王 寺院の建物を守るため  
 に寺門の左右両側に安置してある金剛力士  
 の像。二王尊、二天ともいう。一は開口し、  
 一は閉口しているが、これは阿と吽との  
 二字によって万物の始終を表わしている  
 いわれ、二像を密迹金剛(左)と那羅延金剛  
 (右)、密迹と金剛、金剛と力士などに分け  
 て名づけることがあるが、これは密迹金剛  
 力士と呼ばれる一体の名を分けたのにすぎ  
 ない。この二王尊を安置してある門を二王  
 門(仁王門)という。(参考)大宝積經密迹金剛力士  
 会、仏入涅槃密迹金剛力士哀恋經、大日經三、南都  
 七大寺巡礼記(元興寺の条)、秘藏記私本抄三、和漢



二王 (覺禪鈔)

三才図会一九、塩尻三二

にがつとどう 二月堂 ↓東大寺(註)③

にがびやくどうず 二河白道図 善導

の觀經疏散善義に説かれる二河白道の譬喩  
 を描いた絵画。群賊悪獸に追われた人が西  
 に向かつて逃げてゆき、水と火に挟まれた  
 幅の狭い白道に出会って進退兩難に陥った  
 とき、東岸からは白道を進んで難を逃れよ  
 と勧められ、西岸からは白道を渡り来たれ  
 と招かれ、遂に心を決めて白道を渡って西  
 岸に至り福を受けたという。水・火の二河は  
 衆生の貪愛と瞋恚に、白道は清浄な信心に  
 喩え、東岸の釈迦の勧めと西岸の阿弥陀の  
 招きとによって、人は願心を生じ浄土に往  
 生することを示す。図絵では下方の前景に  
 東岸の娑婆世界、中景には願生者がゆく細  
 い白道、上方の遠景には西岸の極楽浄土が  
 描かれている。京都光明寺蔵の絹本着色二  
 河白道図(鎌倉中期、重文)が有名。

ニガンタ・ナータプッタ Niganta

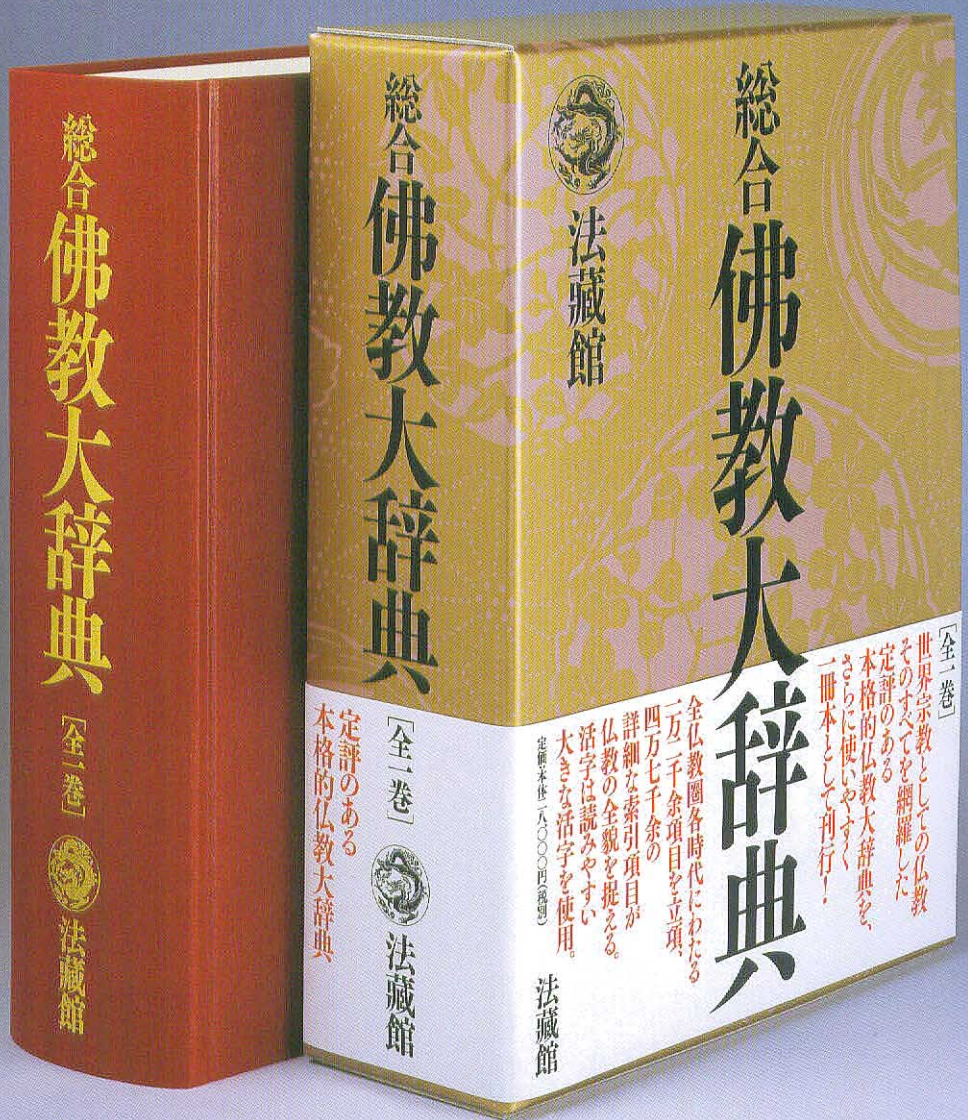
Nataputta ↓尼乾陀若提子(註)④

にぎょう 二教 ①仏教を二種に分類

したもの。教説の意味内容、実践の方法、  
 説法形式、教えを説く者(教主)、教えを受  
 ける対象などの差異によって分けられ、多  
 種の説がある。即ち(イ)小乗教と大乘教。(ロ)  
 半字教(声聞藏(註)⑤)と満字教(菩薩藏(註)⑥)。  
 (ハ)生空教(註)⑦(人無我のみを説いた教え)と  
 法空教(註)⑧(人法二無我を説いた教え)。(ニ)  
 回(ハ)はほぼ同じ意味。(イ)頓教(註)⑨と漸教(註)⑩。

# 好評発売中

二〇〇五年二月刊行



【全一巻】  
 世界宗教としての仏教  
 そのすべてを網羅した  
 定評のある  
 本格的仏教大辞典を、  
 ささらに使いやすく、  
 一冊本として刊行！

全仏教圏各時代にわたる  
 一万二千余項目を立項  
 四万七千余の  
 詳細な索引項目が  
 仏教の全貌を捉える。  
 活字は読みやすい  
 大きな活字を使用。  
 法藏館  
 定価 本 18,000円(税別)

【全三巻】  
 定評のある  
 本格的仏教大辞典  
 法藏館

【体裁】

B5判／上製貼函入／総頁一九六〇頁

【価格】

定価 二九、四〇〇円(税込)

## 法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
 TEL 075-343-5656 FAX 075-371-0458  
 表示価格は税込(5%)です  
<http://www.hozokan.co.jp>  
 e-mail: info@hozokan.co.jp

05020510000

申込書

法藏館刊  
 総合 佛教大辞典  
 [全1巻]  
 ( )を申し込みます。

ご住所 〒

ご氏名

TEL

ISBN4-8318-7070-6

取扱書店